

近隣センター移転計画対策委員会覚書

1. 日時 : 2017年8月28日(月) 19:00~19:40
2. 場所 : 東町交流室
3. 出席者 : 小川(委員長)・清水(副委員長)・勝久・原・太田

オブザーバー
豊中市
坪井、岩崎(千里ニュータウン再生推進課)

豊中市より提示された新地区会館の計画図につき、7月の理事会にて一部疑問、異論があったため、下記項目について再度協議・調整しました。

1. **明確な非常口が無いのは安全管理上いかがなものか？**
2. **会館事務所、倉庫、小集会室(兼なんでも相談室)のいずれかを施錠せず開放しておけば、西側裏口ドアが非常口となる。**
3. **委員による自由な議論**

小川委員長より、条例云々にかかわらず、小さな子供たちも利用する場所に於いて、明確な非常口が無い事は問題がある。

また、福祉のなんでも相談室ともなる小集会室に施錠しないのは、パソコン等備品の管理、資料の情報管理の面でも問題があるとの見解が示されました。

その上で、まずは会館管理事務所倉庫と小集会室を入れ替える。
且つ会館倉庫内の東側に給湯室を埋め込むとのアイデアが示されました。

給湯室の位置につき、他の委員より換気・排気の面で問題が指摘されました。

皆で議論した結果、別紙の通りの修正案とし、理事会に提示する事となりました。(根幹となる大筋では既に合意を得ているので、9月の理事会では確認作業のみ)

また、会館西側の裏口三か所については、すべて押し開け式のドアとする事としました。

新地区会館北側のみでなく、西側にも1m程度の庇を設置する事としました。

4. 新地区会館レイアウト図の修正

以上の調整を踏まえ、豊中市に修正図を作成してもらった事としました。

(9月理事会までに完了予定)

- ・カフェスペースより南に、調理室、会館事務所（交流室機能を含む：すでに理事会で合意済み）、事務所倉庫、なんでも相談室という配置図にしました。

* なんでも相談室の重要性を考慮し、小集会室は廃止し、なんでも相談室専用の部屋とする事としました。

給湯室の配置は、西側（なんでも相談室）に90cm食い込む形とし、玄関から南向きの通路の奥に幅90cmの通路を確保し非常口とする事としました。

別紙、図面参照

5. 今後の検討課題

- ・玄関ドアの形態、形状をもっと考慮すべき。(可能であれば自動ドア)
- ・会館の外観に関しても、もっとイメージを具体化した方がよい。
- ・新地区会館「個」としてのみではなく、近隣の建造物との調和や、道路などと機能面での整合性も考えていく必要もある。
- ・上履き仕様とするかどうか、内装面など詳細については、WSを開催するなど、今後も引き続き広く地域からの意見、要望を募ったうえで検討を続けていく事としました。

次回委員会：日時未定（今後必要に応じて開催致します。）

以上